

平成27年度第4回ユニット型特養運営推進会議

施設長

係長

主任

- ① 日時 平成27年11月17日(火曜日) 14時00分～15時00分
- ② 場所 伯寿の郷面談室
- ③ 参加者 東條会様、秦和男様、小松原祐二様、河野有香様、高木肇様
田中施設長、仲佐係長、谷上相談員、遠藤介護士
- ④ 書記 谷上

(内 容)

1. 地域交流について報告

地域交流について、谷上相談員より報告を行う。一時帰宅、外出、地域の方向けのイベント等について報告。地域交流について、東條様にご意見を伺う。

東條様「うなぎはとてもおいしかったです。昔はナマズを毎日食べていました。松江に持っていき事がないので部落で処分していました。ナマズがまた食べたいですね。」東條様は体調を考慮し、途中退席とする。

2. 第26回島根県老人福祉施設研修大会報告について

表題の件について、遠藤介護士より説明を行う。

3. 内部研修報告について

表題の件について、谷上相談員より報告を行う。

4. 第2回伯寿秋祭りについて

表題の件について、谷上相談員より報告を行う。

全ての議題の説明が終わった時点で、参加者より、意見を頂く

河野様「ご利用者様のことをよく理解された上で外出などを企画しておられるのが伝わり、とても良いと思います。利用者様の楽しかったという声に表れているように思います。地域貢献活動についてですが地域包括支援センターとしても、ミニデイ、ミニサロンの参加者の方アンケート調査を行っています。地域の方とお話しをした際に、伯寿の郷さんがされておられる健康教室の話をされておられる方がいらっしゃいました。月に1回程度であれば出かけたいと思っておられる方は多いと思うので、今後とも、包括支援センターとしても一緒に地域貢献活動を行っていきたいと思っています。」

秦様「地域交流についてですが、今後も積極的に続けていただきたいと思います。遠藤様の件についてはご家族の方が喜んでおられる事が伝わり、我が事のように嬉しく思います。内部研修の報告についてですが、月1回の健康教室を井尻地区にも広げることは可能でしょうか。現在地域の役員をしている関係で、ミニサロンに出にくい方に対しての支援方法に悩んでいます。どうにか出かけて頂きたいとは思っているのですが、秋祭りに関しては、昨年と今年も参加させていただきましたが、昨年に引き続き盛大に開催して下さい、地域の皆様も喜んでいてと思います。」

施設長「現在、赤屋地区で試行的に始めている段階であり、赤屋地区で成功できれば、今後、他地区に広げていきたいと考えています。その時はまたご相談できればと思います。」

高木様「赤屋地区のミニサロンですが、是非今後も続けて頂きたいと思います。先日、赤屋地域の方から、施設を立ててくださいといった内容の要望書を頂きました。要望があったことをお伝えさせていただきます。社会資源が限られてくる中山間地域において、先日ニーズ調査を実施しました。ニーズや生活の生きづらさなどが改めて分かり、今後、関わっていきたくて考えています。遠藤様の発表についてはとても驚きました。生活の質の向上に向けて努力しておられると感じています。遠藤様も希望を持って生活されておられるのではと感じました」

小松原様「話を伺っていて、なんとすごいなと感心しているところです。老人ホームの事を勘違いしていたように思います。入所者への気遣いが、ご家族への不安の払しょくに繋がっていると思います。そこで、お伺いしたいのですが、入所者選考の基準についてと入所費用について伺ってもよろしいでしょうか。また、健康教室の話ですが現在安田地区で私もミニサロンの運営に関わっていますが、講師を探すことに苦慮しています。是非安田地区でも職員の皆様のお力をお借りする事は出来そうですでしょうか。

施設長「入所の選考の基準に関してですが、今年度からの法律の改正に伴い、原則要介護度3以上の方という条件に変更になりました。また、要介護度3以上の方の割合が増えてくると、加算を取得できなくなる関係で、現状として要介護度4以上の方の選考が多くなってきています。健康教室に関しては、依頼があればどの地区でも職員を派遣することは可能と思いますので、そのような機会がございましたら是非、ご相談していただきたいと思います。」

相談員「入所費用に関してですが、本人様の所得によって、減額を受けられる額が異なってきております。従来型で2段階の減額を受けておられる方に関しては、5万～6万円程度、ユニット型で減額を受けていない方に関しては、13万～14万円程度になっています。個別のケースに関してはいつでもご相談にのりますので気軽に訪ねてください。」

次回の日程は平成28年1月19日(火)14時～ 伯寿の郷ユニットにて